

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年6月26日

1. 活動テーマ

<テーマ>

4歳児…葉っぱで何か作ってみよう

<テーマ設定理由>

・前回の活動の時に、次は葉っぱで「くるま」や「ふね」を作ってみたいという子どもの声があったので今回のテーマにする。

2. 活動スケジュール

- ・子ども達に色々な葉っぱの形がある事を伝えるため「葉っぱの絵本」をみんなで見る。
- ・たくさんの葉っぱのついた枝などを用意して、一人ひとり大きな画用紙の上で自由に葉っぱで表現できるようにする。
- ・出来上がった物は写真を撮る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・緑の葉っぱの色が生えるナチュラルな色の大きめの画用紙
- ・いろいろな形の葉っぱのついている木の枝や葉っぱ
- ・途中から立体的にしたいとの声で粘土、セロテープ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・今回は、活動前に葉っぱで何か作ってみたいものと考えておいてと伝えた。
- ・当日は、子ども達の自由な発想に任せて、一人一枚の大きめの画用紙とたくさんの木の葉を用意した。
- ・平面で画用紙の上で葉を動かしながらイメージを膨らませていた。葉っぱを立てようとしている子がいたので粘土を用意した。
- ・少人数で行っていたが、集中してやっている子が多かったので、机を増やして待っている子も出来るようにした。
- ・給食前に一度活動は終わったが、そのままの状態が残っていた。給食後もう少しやりたいという子は楽しんでいた。
- ・葉っぱは部屋に置いておき、しばらく使いたい時に自由に使えるようにした。
- ・日にちが立って少しカサカサした葉っぱを使って粘土に立てたり、つぶしてカサカサした感触を楽しんでいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

- ・いろいろな木の葉っぱを用意して、自分で好きな形や長さの葉っぱを選ぶ。
- ・枝から葉っぱをとった状態を見て「電車みたい」と電車をつくる。同じ葉っぱを重ねて「飛行機」を作る。
- ・数本の枝に葉っぱを差し込み立てようとする子もいた。「面白いね」と伝えると「もっと刺してみる」とどンドン刺し始める。
- ・笹の葉の匂いをかぎ、「トマトの匂い」と言っていた。
- ・枝の葉を取っては並べる。葉っぱを立てようとする。粘土を出すと、土台にして葉っぱの茎を立ててみる。
- ・穴をあける。「穴あいたの?」と聞か集中してほこほこ穴をあけていた。
- ・粘土が出てくると、葉っぱと粘土で「遊園地」と言いながら粘土の土台に枝をさす。
- ・粘土に葉っぱを押し付け模様をつけていた。葉っぱを耳として、顔、体を粘土でうさぎを作る。
- ・粘土で形を作り葉っぱに乗せる子もいた。
- ・画用紙の上で葉っぱやつるを並べて自由な発想でキャンパスのように使う子もいた。
- ・大きい葉っぱを粘土に刺す。
- ・葉っぱにセロテープを付ける。
- ・枝にセロテープを付ける。
- ・一人ひとりの作品を飾り、一日過ごした。

5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・葉っぱを自由に使って、「大きな画用紙の上で好きな物を作っている」と伝えたがイメージがわきにくく、すぐに「これで電車作ってみる」と発想が浮かぶ子は少なかった。いろいろな葉っぱを重ねたり、ツルのような柔らかい枝を丸めたりとイメージし、いろいろとやっているうちに枝を立てようとする子がいて、すぐに粘土を用意したのは良かった。立てることによってイメージが持てて子どもたちの目もキラキラして表現が広がっていった。
- ・いつも興味を示さない子が給食後もやりたいと言って、枝を立てたり、セロテープを使ったりして自分の発想を突き詰めていた。
- ・少人数でやっていたが、「もっとやってほしい」という子が多く机を増やしたり、給食後もじっくりやる時間を作った。
- ・大人が「何ができるかな?」と助言してしまうのではなく子どもが何しているのかを見ることが大事。
- ・子どもは集中していても担任の声に反応する。4, 5歳は自分達で材料を集める事ができるので、次回は子ども達とたくさん材料を集めてやってみる。普段からこのような遊びが出来ると良いと感じた。机やる場所の配置を変えたりするのも大切だと気付いた。
- ・次回は、粘土など子ども達に、木の葉っぱの他に使いたい物などを聞いてたっぷり時間を使ってじっくり楽しみたい。